

春期テキスト

必修編

# 数学

中学  
新

1年

正負の数や加法と減法等の問題集  
新中1数学 | 中学春期テキスト[必修編]

## 第 4 講座

## 正負の数，加法と減法

## ▶ 要点のまとめ

## 1 正負の数

- (1) 正負の数 0 より大きい数を正の数といい，正の符号 + をつけて，+4，+5.3 などと表す。0 より小さい数を負の数といい，負の符号 - をつけて，-3，-2.4 などと表す。

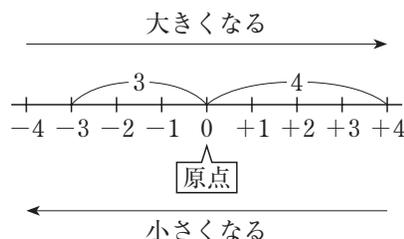
整数には，正の整数，0，負の整数があり，正の整数を自然数ともいう。

0 は正の数でも負の数でもない。

- (2) たがいに反対の性質をもつ量は，正の数，負の数を使って表すことができる。

例 50 円の増加を +50 円と表すと，80 円の減少は -80 円と表される。

- (3) 数直線上で，0 に対応する点を原点といい，正の数は 0 より右側，負の数は 0 より左側の点に対応する。



- (4) 絶対値 数直線上で，ある数に対応する点と原点との距離を，その数の絶対値という。

例 -3 の絶対値は 3，+4 の絶対値は 4

- (5) 数の大小 数直線上で，右にある数ほど大きい。

負の数は，絶対値が大きいほど小さい。例  $-8 < -3$

## 2 正負の数の加法(たし算)

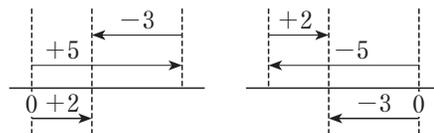
- (1) 同符号の 2 数の和 2 数の絶対値の和に，共通の符号をつける。

例  $(+2)+(+3)=+(2+3)=+5$      $(-3)+(-2)=-(3+2)=-5$

- (2) 異符号の 2 数の和 2 数の絶対値の差に，絶対値の大きいほうの符号をつける。

例  $(+5)+(-3)=+(5-3)=+2$

$(-5)+(+2)=-(5-2)=-3$



## 3 加法の計算法則

加法の交換法則  $\cdots a+b=b+a$     加法の結合法則  $\cdots (a+b)+c=a+(b+c)$

## 4 正負の数の減法(ひき算)

ひく数の符号を変えて，加法になおして計算する。

例  $(+4)-(+7)=(+4)+(-7)=-3$      $(+6)-(-4)=(+6)+(+4)=+10$

## 5 正の符号や( )を省いた式の計算

正の符号や( )を省いた式は，加法の記号 + が省略されていると考えることができる。

例  $3-8=(+3)-(+8)=(+3)+(-8)$

+3，-8 を  $3-8$  の式の項という。

## 基本問題

- 1 〈正負の数〉 次の数を，正の符号，負の符号を使って表しなさい。

(1) 0 より 6 大きい数

(2) 0 より 8 小さい数

(3) 0 より 1.7 大きい数

(4) 0 より 0.4 小さい数



## 演習問題

**1** 次の問いに答えなさい。

(1) 絶対値が次のようになる数を, 符号をつけて答えなさい。

㉞ 5.6

㉟  $\frac{5}{6}$

(2) 絶対値が3以下の整数をすべて答えなさい。

**2** 次の問いに答えなさい。

(1) 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

㉞ -8, +1, -2

㉟ -5, +3, 0

(2) 次の数を, 小さいほうから順に並べなさい。

$0, -\frac{1}{5}, \frac{2}{3}, -1, 2.5$

**3** 次の計算をしなさい。

(1)  $(+27)+(-45)$

(2)  $(-26)-(+15)$

(3)  $(-29)-(-53)$

(4)  $(-12)+0$

(5)  $(-1.5)+(+2.3)$

(6)  $(+\frac{5}{6})-(+\frac{7}{8})$

**4** 次の計算をしなさい。

(1)  $17-82$

(2)  $-64+38$

(3)  $-2.6-1.8$

(4)  $0-6.2$

(5)  $-\frac{1}{3}+\frac{5}{6}$

(6)  $-\frac{2}{5}-\frac{1}{2}$

**5** 次の問いに答えなさい。

(1) 数直線上で、 $-3$ と $5$ の真ん中にある数を求めなさい。

\_\_\_\_\_

(2)  $-4.6$ より大きい負の整数をすべて答えなさい。

\_\_\_\_\_

(3) 数直線上で、 $-1$ からの距離が $2$ である数を求めなさい。

\_\_\_\_\_

(4) 次の数のうち、絶対値がもっとも小さい数から絶対値がもっとも大きい数をひいた差を求めなさい。

$-4, +2, +8, -1, -16$

\_\_\_\_\_

**6** 次の計算をしなさい。

(1)  $-3+(-7)-(-16)$

(2)  $11-4-15$

(3)  $5-18+2-4$

(4)  $6-(-10)-5-9$

(5)  $7.2-5.6+6.5$

(6)  $\frac{1}{4}-\frac{2}{3}-\frac{1}{6}$

(7)  $3-(-7+15)$

(8)  $-2.8+(1.3-6.2)$

**7** 右の表は、ある中学校の図書室で本を借りた生徒の人数について、先週の月曜日から金曜日について調べた結果を、 $25$ 人を基準にして、それより多い場合には正の数、少ない場合には負の数で表したものである。次の問いに答えなさい。

曜日	月	火	水	木	金
差(人)	+8	-3	-4	+5	+12

(1) 月曜日に図書室で本を借りた生徒は何人か。

\_\_\_\_\_

(2) 図書室で本を借りた生徒の人数がもっとも多かった日と、もっとも少なかった日の、人数の差は何人か。

\_\_\_\_\_

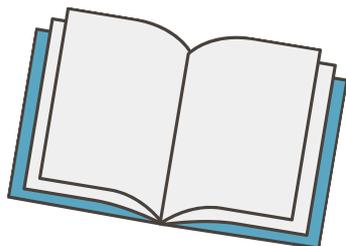
(3)  $30$ 人を基準にすると、水曜日に図書室で本を借りた生徒の人数はどのように表されるか。

\_\_\_\_\_

紙面サンプルはここまでです。  
弊社教材サンプルをご覧いただき  
ありがとうございます。

塾・学校の先生限定サイト

Bunri Teachers' Site へのご登録で、  
全ページ版をご覧いただけます。



登録無料で、他にも便利な機能がたくさん！  
ぜひお役立て下さい。

Bunri Teachers' Site  
会員登録はこちら



※ご登録には弊社発行の招待コードが必要です。

### 教材サポート

単元テスト、指導用資料、  
学習サポートアイテムなど  
指導をサポートするコンテンツ



### 最新の教育情報

社会時事問題、高校入試分析、  
教科書採択情報など最新の  
教育に関する情報をお届け



### 各種教材やテストの お問い合わせ・お申込み

生徒さま一人一人に合った教材・  
テスト・デジタルコンテンツを  
ご提案



※Bunri Teachers' Siteは、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

ユーザー登録していただくことで、会員限定の詳細情報をご覧いただくことができます。  
本サイトは一般の方のご利用をお断りしております。予めご了承ください。

お問い合わせフォーム



招待コード発行や教材の内容・ご購入方法等  
お気軽にお問い合わせ下さい。